別記様式第 1 (第 2 条 関係)(平24文料令8・全改、平25文料令8・平30原子規11・令元原子規 3・令 2 原子規21・一部改正)

整理番号	(注1)	

## 放射性同位元素 放射線発生装置 の使用許可申請書

年 月 日

原子力規制委員会 殿

氏 名 (法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

放射性同位元素等の規制に関する法律第3条第1項の規定により 放射性 放射線

同位元素 発生装置 の使用の許可を申請します。

_					
氏	名	又	は	名 称	
法人	にあつて	こは,	その代表	者の氏名	
住				所	郵便番号 ( )
					電話番号( )
		名		称	
工場事	又は 業 所	所	在	地	郵便番号 ( )
		 名		 称	
		_ <del>_</del>		1/3•	   郵便番号( )
		所	在	地	都道 府県
	上の格先				電話番号( )
~ <u>_</u> .	,				所属部課名( )
		連絡	4員の氏名	(注 2 )	電話番号( )
		XL/II	124 42 <b>44</b> 1	(111 0 )	FAX番号( )
					メールアドレス(  )
使用()	の内容 生3)	イ たが	密封され 対性同位	ていない! 元素の使	枚射性同位元素の使用 ロ 密封され 用 ハ 放射線発生装置の使用

手数料の納 付方法 (注 3の2)

イ 収入印紙による納付 ロ 納入告知書による納付

# 別記様式第1中別紙様式イ

	密封	5	ħ ·	7	ķγ	な	ķγ	放	射	性	同	位	元	素	
種	核					種									
類	物于	里 的	状	態	往	5)									
及 び	化	学	形	等	(注	6)									
数	年間	] 使 月	] 数	量	(注	7)									
量	3	月間	使	用	数	量									
(注4)	1 E	最	大使	用	数	量									
使	用	0	)	目		的									
使	用	0	)	方		法									
使	用	o :	場	所	往	8)									
	位	地崩	i n	のす	ે ર	: h									
		浸 才	くの	な	そ	れ									
	置	周	囲	の	状	況									
	形					態	建	築物	居	· 3	<b>Ē</b> ?	その他	(		)
		   構 道	生の	耐	火	性		·火構 :の他		不修	*** *********************************	で造	られ	たも	<sub>5</sub> の
			建。	名	区/称	分		達	柱		床	はり	屋	根	階段
	主											_			
	要	材	築												
	構		物										<u> </u>		
	造部		-		<del></del>	- //							<u> </u>		
	等			名	区/称	分		壁	1	主	床	<b>│</b> ₹	井		階段
	(注9)	料	居	- H	474		-								
			室				<u> </u>								

			ι Γ					Γ			Г		
			<u> </u>								<u> </u>		
	遮遮 蔽蔽	施設     場所   	内の常に と対す	時立ち る遮蔽 (注	入る 10)								
使用	その他の	- 工場で 及居 を	又は事 に場又 主区域	業所の は事業 に対す (注	境界 所内 31)								
施		###	Γ	物及び									
   設   の		造		 材の目 況 (注									
位	作				分		表	面	材	料			室の
置		表   面	室:	名 \		床	腰壁	壁	天井	流し	その 他	積	容積
構	業	材料										m³	m³
造		表面材料 等 (注13)										m³	m³
及	室	(,,										m³	m³
び		フー)	こ、グ	ロープ	ボッ								-
設		クス領   設備 d	等の個語 との連続	数及び 結状況	排気								
備		標識	を付	ける1	暂所								
		場		所(注	14)								
		構	突起!	物及び 状況	くぼ								
		造	仕上	材の目 況(注	地等 15)								
	汚	表面	室	名区	分	床	. <u>H</u>	要壁	壁	: 5	天井	流し	その他
	染	表面 材料 (注16)											
	検	洗	 浄	 設		_							
	査	更	衣	設	備								
	室		食査用 り種類	の放射 及び台	線測数								
			の除去	に必要	な器								

[									
	水設備との連結状況								
	標識を付ける箇所								
出	入口	人なその	Ñ通常 ○他 Ø	常出えり出え	しりする し口	る出入「 箇所	コ (用え	暂用 È	ዡ )
管理区域	境界に設ける柵その他 の施設								
域	標識を付ける箇所								
位	地崩れのおそれ								
	浸水のおそれ								
置	周囲の状況								
野 -	貯蔵室の構造の耐火性 (注17)								
蔵	貯 室 名 区 分	壁	柱	床	はり	天井	階段	屝	41.7
室 又	野蔵室の材料								
は	材								
貯蔵	貯蔵箱の設置位置、個数、構造及び材料								
箱	(注18) 標識を付ける箇所								
遊遊	施設内の常時立ち入る 場所に対する遮蔽 (注19)	_							
壁その他の	工場又は事業所の境界 及び工場又は事業所内 の居住区域に対する遮 蔽 (注20)								
貯	種類及び個数								
蔵	内容物の物理的性状								
容	構造及び材料								
器	受 皿、吸 収 材 等								
(注21)	標識を付ける箇所								
出	入口	人カ そ <i>0</i>	·通常 )他 Ø	・ 常出ス り出ス	 しりする し口	 る出入! 箇所	── コ 〔用湞	—— 簡月 È	斤 <sub>、</sub>

	 閉鎖(	 ひため(	 ひ設備	サンプラング ままない ままない アンフェン はいし アンフェン アンフェン アンフェン アンフェン アイス はまれる アンフェン アンフェン アンフェン アンフェン アンフェン アンフェン アンフェン アンフェン アンファン アンファン アンファンス アンス アンファンス アンス アンス アンス アンス アンス アンス アンス アンス アンス ア	器具						
	管理区域	境界に		る柵そ(	か他						
	域	標識	を付り	ける筐	前所						
	貯	蔵(	指 :	力(注2	22)						
	位	地崩	ħσ	) おそ	: h						
	置	浸水	: の	おそ	れ						
		周	囲 の	米	況						
	廃	気 体	:	のも	の						
	廃棄の方法	液体	:	のも	の						
	法	固体	:	のも	の						
	主要	構造	· の	耐火	性	耐火権	<b>携造</b> ▽	不燃材料 )	₩で造員	られたも	5の
	構造	材	名;	陈	分	壁	柱	床	はり	屋根	階段
	部等	料料									
_	遮 遊 を を を を を を を を を を を を を を り を り	施設    施設    場所に	 対の常E に対す	時立ち る遮蔽 (注2			<u> </u>	l			<u> </u>
	その他の	工場 3 及び 3 の居住	ては事 三場又( 主区域)	業所の場 は事業所 に対する (注2	る遮						
		排	 種類	及び自	主数						
		排風機	位		置						
		(注25)	性 (	能(注2	26)						
		排	種類	及び台	致						
			位		置						
		排気浄化装置	性		能						
		置 (注27)	標識 <sup>3</sup> 所	を付け	る箇						
			構 ;	造(注2	28)		1				

	排	排	材料及び当	登装		
廃	戾	気   管 		る箇		
	設	+1F	排気口の高	うさ		
	備	# 	   隣接する建物   の関係	物と		
棄	V <del>H3</del>		   標識を付ける   所	る箇		
		汚染5 止装置	L 空気の広がり( 置 (注2	の防 29)		
施		作業室	を、廃棄作業室 印炉との連結	室及 伏況		
		作業国に対す	を及び廃棄作 する換気能力 (注3			
設		排	材	料		
		水	継ぎ目の構	<b>筹</b> 造		
	排	管	標識を付ける 所	る箇		
の			種類及び個	<b>国数</b>		
		排	位	置		
	水	水	容 	量		
位		净 化	構造及びれ (注3			
		槽	排液流出調節 置	節装		
置、	設	(注31)	標識を付ける所	る箇		
			種類及び台	う数 一		
	/##.	排液	位	置		
構	備	排液処理装置	構造及びね	才料		
113		装   置	性	能		
		(注33)	標識を付ける 所	る箇		

521.		構	突起 みの	物及び 状況	くぼ								
造	廃	造	仕上の状	材の目: 況 (注:	地等 34)								
	棄 作	表面材料等	室	名名	分	床	表腰壁	面壁	材 天井	料流し	その 他	床面積	室の容積
及	· ' · 業	料等	,									m³	m³
	室	(注35)										m³	m³
		フート 気設備	*等の 第との	個数及 連結状	び排 况								
び		標識	を付	ける筐	新所								
0.		場		所(注:	36)								
		構	突起みの	物及び 状況	くぼ								
設		造	仕上の状	材の目: 況(注:3	地等 37)								
ąх.	汚	表面	/室	名 区	分	床		腰壁	壁	: 3	天井	流し	その他
	染	表面 材料 (注38)											
備	検	洗洗	L 浄	 設						<u></u>			<u></u>
VH3	査	- <sup>近</sup>      更	· 一 衣	  設									
		<u> </u>											
	室	定器の	1種類	の放射線及び台湾	数 ———								
		汚染 <i>(</i> 材	り除去	に必要に	な器								
		洗浄記 水設備	投備の: 第との:	排水管。 連結状	と排 况								
		標識	を付	ける筐	新所								
		焼却物	かの種	類(注:	39)								
	焼	焼却	の方	法(注4	10)								
	却	熱源	及び:	炉室率	¥ 積								
	炉	構造	及	び材	料								

	焼却列	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	出口	1の位	位置				
	排気部	を備と	の連	結	犬況				
固無	種 類	及	U <sup>†</sup>	台	数				
光	位				置				
<b>固型化処理設備</b>	構造	及	び	材	料				
備	性				能				
	構造	及	U,	材	料				
保	外部	との	区區	町 状	: 況				
管	閉鎖の	)ため	の割	備了	ては				
	標識	を付	ける	5 筐	所				
廃	保	- 種類	及	び個	数				
棄	管廃	内容 性状	物の	物理	里的				
設	棄容	構造		び 材 (注4					
備	谷   器	受皿	、呖	収ᡮ	才等				
	(注41)	標識所	を付	けける	る 箇				
出		入				人が通常出 その他の出	引入りする 引入口	5 出入口 箇所(用注	<b>箇</b> 所 金 )
- 管理区域	境界に		る#	その	D他				
域	標識	を付	ける	5 筐	所				

# 別記様式第1中別紙様式イの二

一時	的に管	理区域の外	におい	て使用を	とする密封	されていた	よい放射性同	司位元素
核			種	(注43)				
化	学	形	等	(注44)				
使	用	数	量	(注45)				
使	用	の	目	的				
使	用	の	方	法				
使	用	の場	所	(注46)				

# 別記様式第1中別紙様式口

		密封	Ž	れ	た	放	射	性	同	位	元素		
							機器に 機器に 素	こ <del>装</del> ( 汝射(	帯さ 生同	れて 位元	機器に元素	こ装備に入放射の	されて 性同位
	核					種							
	物 3	里 的	状	態	(注48	3)							
種	化	学	形	等	(注49	)							
類 及	密	財の	状	態	(注50	))							
及び数	1個	当たり	の数	量及	び 個 (注51								
量	合	計		数		量							
(注47)	放射( され <sup>2</sup> 器の	生同位う ている物 重類、型	亡素だ 場合に 型式を	こは、 をび作	器に装 その ±能 (注52	機							
使	用	の		目		的							
使	用	の :	方	法	(注53	3)							
使	用	の ±	場	所	(注54	<u>l)</u>							
	位	地崩	れ	のま	3 そ	れ							
		浸水	くの	お	そ	れ							
	_ 置 	周	囲	の	状	況							
	形					態	建築物	勿	居	室	その船	也 (	)
		構 進	きの	耐	火	性	耐火権	<b>帯造</b> 也 (		不燃 )	オ料でえ 	告られ:	たもの
	主		+-f4	名移	N N	分 <u>\</u>	壁	<u></u> 柱	:	床	はり	屋根	階段
	要		建										
使			築										
用	構	材	物										
施	造			名称	N N	·分		<del>- T-</del>	柱	一 床	-	上——— :井	上
設	部 部		居			•							

の	等	July 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
位	(注55)	料 室
置	(,,	そ名称区分
`		0
構		他
造	遊遊をを	施設内の常時立ち入る 場所に対する遮蔽 (注56)
及	一を整その他の	工場又は事業所の境界 及び工場又は事業所内
び	他の	の居住区域に対する速
設備	放射性同位三を使用する宮	使用中である旨を自動 的に表示する装置の種 類及びそれを付ける箇 所
	同す 位る 元室 素	インターロックの種 類、機能及びそれを付 ける箇所
		標識を付ける箇所
	出	入 ロ 人が通常出入りする出入口 箇所 その他の出入口 箇所(用途 )
	管理区域	境界に設ける柵その他 の施設
	域	標識を付ける箇所
	位	地崩れのおそれ
		浸水のおそれ
	置	周囲の状況
     貯	貯	貯蔵室の構造の耐火性 (注58)
蔵	蔵 室	野
施	又 は	貯蔵室名 区分壁柱床はり天井階段扉窓   室の材
   設	貯	材

1	1	Γ
の	蔵	貯蔵箱の設置位置、個 数、構造及び材料
位	箱	(注59)
置		標識を付ける箇所
構	遊遊	施設内の常時立ち入る 場所に対する遮蔽
進	一	(注60)
設備	  の他	工場又は事業所の境界
) /#   及	で の	の居住区域に対する遮 蔽 (注61)
び	貯	種類及び個数
貯	貯蔵容器	構 造 及 び 材 料 (注63)
蔵	(注62)	標識を付ける箇所
能力力	出	入 ロ 人が通常出入りする出入口 箇所 その他の出入口 箇所(用途 )
	閉鎖の	のための設備又は器具
	管理区2	境界に設ける柵その他 の施設
	域域	標識を付ける箇所
		貯蔵室又は貯蔵箱 (注64)
	貯蔵能力	耐 火 性 の 容 器 (注65)
	位	地崩れのおそれ
		浸水のおそれ
	置	周囲の状況
	<u></u>	構 造 の 耐 火 性 耐火構造 不燃材料で造られたもの その他 ( )
	主要構造部等	材 名称 区分 壁 柱 床 はり 屋根 階段
廃	等	料
棄		

施設	遮遮 蔽蔽 壁物		内の常時立ち戸 こ対する遮蔽 (注6					
の位	その他の	工場 3 及び 3 の居 6	Zは事業所の増 C場又は事業所 E区域に対する (注6	遮				
置、構		<u> </u>	き及び 材	料				
造		外部	との区画状	況				
及	保管	閉鎖の 器具	のための設備又	は				
び		標識	を付ける箇	所				
設	廃		種類及び個	数				
備	棄設	保管廃	- 内容物の物理 性状	皀的				
	備	保管廃棄容器	構造及び材 (注69					
		(注68)	標識を付ける 所	箇				
	出	入口		人が通常はその他のお	出入りする 出入口	る出入口 箇所(用途	箇所 金 )	
	管理区域	境界に の施記	こ設ける柵その ช	)他				
	域	標識	を付ける箇	所				

# 別記様式第1中別紙様式ハ

, t	汝	射		線	!		発		生		装		置	
種						類								
台						数								
性						能								
使	用	0)	)	目		的								
使	用	の	方	法	(注7	0)								
使	用	の :	場	所	(注7	1)								
	位	地崩	i h	のす	おそ	れ								
	置置	浸力	くの	お	そ	れ								
		周	囲	の	状	況								
	形					態	建築物	勿	居	室	その船	也 (	)	
		構造	もの	耐	火	性	耐火棒	<b></b>		不燃材	オ料でネ	告られ	たもの	カ
	<u> </u>		建	名和	》	₹分	壁	<b>木</b>	主	床	はり	屋根	と 階段	没
使	主		-											
	要	材	築											
用用	構		物											
	造							<u> </u>			<u> </u>			
施	部		居	名和	<u></u>	≤分	壁		柱 	床	天	井	階	没
, ne	等	料	/=					1						
設	(注72)	47	室											
0	遊遊 一 遊遊 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	施設 [ 場所]	                 	 営時3 よるが	立ち <i>〕</i> 金 <del>蔵</del> (注7									
位	遮蔽壁その他の	工場で	又は 工場 主区 対	事業月 之は 或に対	所の均 事業月 付注7	意界 近内 3 4)								

置、	放を 射線用	上的にま	っである旨を そ示する装置( がそれを付け)	カ種				
構	発生装置	類、機	インターロックの種類、機能及びそれを付ける箇所					
		標識	を付ける筐	所				
     造		構造	及び材	料				
		外部	との区画場	、況				
     及	放	閉鎖の 器具	ための設備!	又は				
	射 化	標識	 を付ける 筐	所				
	物		 種類及び¶	国数				
び	保管	放射化	 内容物の物: 性状	里的	_			
     設	設備	放射化物保管容器	構造及びね (注:7		_			
		容型	 受皿、吸収 <sup>7</sup>	<b>才等</b>				
備		(注75)	 標識を付け 所	る箇				
	出	<u>                                     </u>	L/			 出入りす <sup>.</sup> 出入口	┴──── る出入口 箇所(用)	<b>箇</b> 所 金 )
	管	境界に設ける柵その他 の施設			_			
	理 区	標識	を付ける筐	所	-			
	域	第22 <i>条</i> 用する	をの3の規定 の域 (注7	を適 77)				
	(1-	地崩	れのおそ	: h				
	位	浸 水	浸水のおそれ					
	置	周	囲の 状	況				
	廃	気 体	: 状 の も	の				
	廃棄の方法	液体	: 状 の も	の				
	万   法	固体	: 状 の も	の				

	主	構造	色の耐り	火 性	耐火権 そのff		不燃(	材料で対	告られた	きもの
廃	要構造部等	 材 料	名称	区分	· <u>壁</u>	 柱 	床	はり	屋根	階段
棄	遮遮 蔽蔽 壁物	施設「場所」	内の常時立た こ対する遮蔽 (注	ó入る 菱 È78)						
	その他の	工場 及び の居住 蔽	又は事業所の 工場又は事美 主区域に対す (名	D境界 美所内 よ79)						
施		排	種類及び	台数						
20		   人機	位	置						
		(注80)	性能低	È81)						
		捷	種類及び	台数						
設		排気浄化装置	位	置						
	排	化装	性 	能						
		E (注82)	標識を付り   所	ける箇						
_	戾	# ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! !	構造(注	È83)		'		•	'	
の			材料及び	塗 装						
	設	管 	標識を付け	ける箇						
			排気口の	ち高						
位	備	排気口	隣接する類 の関係	単物と						
			標識を付り 所	ける箇						
置		汚染3	空気の広がり 登	)の防 È84)						
E,	直、		泉発生装置を 室に対する数 (注							

					т-
		   排	材	料	
構		水	継ぎ目の構	造	
		管	標識を付ける 所	笛	
	+1F		 種類及び個	数	
`# <u>.</u>	排 	排	位	置	
造		水	 容	量	
	水	浄     化	構造及び材 (注8)		
		槽	排液流出調節 置	装	
及	設	(注86)	 標識を付ける 所	笛	
	/## <u>.</u>	排	- 種類及び台	数	
	備	液	位	置	
び			構造及び材	料	
		装	性	能	
		置 (注88)	標識を付ける 所	笛	
設		構造	き及び 材	料	
ĦX.	保	外部	との区画状	況	
	管	閉鎖の器具	)ための設備又	は	
	_	標識	を付ける箇	所	
備	廃	     保	種類及び個	数	
	棄	管廃	内容物の物理 性状 	的	
	設	棄容	構造及び材 (注90	料))	
	備	器	受皿、吸収を	等	
		(注89)	標識を付ける 所	笛	
	出		入	口	人が通常出入りする出入口 箇所 その他の出入口 箇所(用途 )

管理区域	境界に設ける柵その他 の施設	
域	標識を付ける箇所	

- 注 1 「整理番号」 この欄には、記載しないこと。
  - 2 「連絡員の氏名」 **FAX番号及びメールアドレス**については、可能な範囲で記載すること。
  - 3 「使用の内容」 該当するものを丸で囲み、別紙として別記様式第 1中別紙様式イ、ロ又はハのうちのそれぞれ該当するもの全てを添え ること。
  - 3の2 手数料は、収入印紙又は納入告知書により納付すること。収入 印紙により納付する場合は、イを○で囲み、所定の金額の収入印紙を この申請書の左上に消印せずに貼り付けること。納入告知書により納 付する場合は、口を○で囲み、歳入徴収官原子力規制委員会原子力規 制庁長官官房参事官が送付する納入告知書の指示に従うこと。
  - 4 「種類及び数量」 核種及び化学形等ごとに記載し、数量の単位と しては、ベクレルを用いること。
  - 5 「物理的状態」 気体、液体等の区分を記載すること。
  - 6 「化学形等」 原子力規制委員会の定める化学形等の区分を記載す ること。
  - 7 「年間使用数量」 年間(1年に満たない場合にあつては、その期間)の使用の合計数量を記載すること。
  - 8 「使用の場所」 使用する室の名称等使用の場所を具体的に記載すること。また、密封されていない放射性同位元素を管理区域の外で使用する場合にあつては、別紙として別記様式第1中別紙様式イに加え別記様式第1中別紙様式イの二を添えること。
  - 9 「主要構造部等」 建築物又は居室に類似するものについては建築 物又は居室の欄に記載すること。
  - 10 「施設内の常時立ち入る場所に対する遮蔽」 遮蔽物のある場合に は、その構造及び材料並びに放射線源から常時立ち入る場所までの距 離につき、また、遮蔽物のない場合には、放射線源から常時立ち入る 場所までの距離につき、それぞれ記載すること。
  - 11 「工場又は事業所の境界及び工場又は事業所内の居住区域に対する 遮蔽」 注10の例により記載すること。
  - 12 「仕上材の目地等の状況」 仕上材の目地等の隙間の有無及びその 処理の状況を記載すること。

- 13 「表面材料等」 汚染されるおそれのある作業台、棚等はその他の 欄に記載すること。
- 14 「場所」 人が通常出入りする使用施設の出入口との関連について 記載すること。
- 15 「仕上材の目地等の状況」 注12の例により記載すること。
- 16 「表面材料」 注13の例により記載すること。
- 17 「貯蔵室の構造の耐火性」 開口部(給排気口を含む。)の状況についても記載すること。
- 18 「貯蔵箱の設置位置、個数、構造及び材料」 貯蔵箱の設置位置については、貯蔵箱が設置されている室の名称等を記載すること。
- 19 「施設内の常時立ち入る場所に対する遮蔽」 注10の例により記載すること。
- 20 「工場又は事業所内の境界及び工場又は事業所内の居住区域に対する遮蔽」 注10の例により記載すること。
- 21 「貯蔵容器」 種類ごとに記載すること。
- 22 「貯蔵能力」 放射性同位元素の種類ごと、かつ、貯蔵室又は貯蔵 箱ごとに記載すること。また、下限数量に対する比の合計値を併せて 記載すること。
- 23 「施設内の常時立ち入る場所に対する遮蔽」 注10の例により記載 すること。
- 24 「工場又は事業所の境界及び工場又は事業所内の居住区域に対する 遮蔽」 注10の例により記載すること。
- 25 「排風機」 注21の例により記載すること。
- 26 「性能」 排気能力 (㎡/分) を記載すること。
- 27 「排気浄化装置」 注21の例により記載すること。
- 28 「構造」 気密性について記載すること。
- 29 「汚染空気の広がりの防止装置」 ダンパーの有無等を記載すること。
- 30 「作業室及び廃棄作業室に対する換気能力」 1時間当たりの換気 回数を各室ごとに記載すること。
- 31 「排水浄化槽」 注21の例により記載すること。
- 32 「構造及び材料」 水密性及び耐食性、排液の採取又は排液の濃度 測定の可否、蓋又は開口部の周囲の柵等について記載すること。
- 33 「排液処理装置」 注21の例により記載すること。
- 34 「仕上材の目地等の状況」 注12の例により記載すること。
- 35 「表面材料等」 注13の例により記載すること。

- 36 「場所」 人が通常出入りする廃棄施設の出入口との関連について 記載すること。
- 37 「仕上材の目地等の状況」 注12の例により記載すること。
- 38 「表面材料」 注13の例により記載すること。
- 39 「焼却物の種類」 焼却物に含まれる核種を記載すること。
- 40 「焼却の方法」 焼却温度、蒸し焼きにするか否か等を記載すること。
- 41 「保管廃棄容器」 注21の例により記載すること。
- 42 「構造及び材料」 構造の耐火性についても記載すること。
- 43 「核種」 別記様式第1中別紙様式イに記載した核種の範囲内とすること。
- 44 「化学形等」 注6の例により記載すること。
- 45 「使用数量」 1日の使用の合計数量を記載すること。
- 46 「使用の場所」 注8の例により記載すること。
- 47 「種類及び数量」 機器に装備されている放射性同位元素について は機器ごと(通常一組又は一式をもつて使用するものにあつては一組 又は一式ごと)に、機器に装備されていない放射性同位元素について は核種及び化学形等(注6の例による。)ごとに記載すること。
- 48 「物理的状態」 注5の例により記載すること。
- 49 「化学形等」 注6の例により記載すること。
- 50 「密封の状態」 放射性同位元素を被覆しているカプセル等の材料、材質、厚さ等を記載すること。また、コバルト又はラジウムの針、管等にあつては、その形状について記載すること。
- 51 「1個当たりの数量及び個数」 通常一組又は一式をもつて使用するものにあつては一組又は一式当たりの数量を記載すること。
- 52 「放射性同位元素が機器に装備されている場合には、その機器の種類、型式及び性能」 放射性同位元素が装備されている機器について 記載すること。
- 53 「使用の方法」 線源の位置、1週間当たりの使用時間数及び3月間当たりの使用時間数、利用線すいの方向についても記載すること。
- 54 「使用の場所」 注8の例により記載すること。
- 55 「主要構造部等」 注9の例により記載すること。
- 56 「施設内の常時立ち入る場所に対する遮蔽」 注10の例により記載 すること。
- 57 「工場又は事業所の境界及び工場又は事業所内の居住区域に対する 遮蔽」 注10の例により記載すること。

- 58 「貯蔵室の構造の耐火性」 注17の例により記載すること。
- 59 「貯蔵箱の設置位置、個数、構造及び材料」 注18の例により記載 すること。
- 60 「施設内の常時立ち入る場所に対する遮蔽」 注10の例により記載 すること。
- 61 「工場又は事業所の境界及び工場又は事業所内の居住区域に対する 遮蔽」 注10の例により記載すること。
- 62 「貯蔵容器」 注21の例により記載すること。また、機器に装備されている放射性同位元素の場合にあつては、耐火性について記載すること。
- 63 「構造及び材料」 貯蔵室又は貯蔵箱を有しない場合には、構造の耐火性についても記載すること。
- 64 「貯蔵室又は貯蔵箱」 注21の例により記載すること。
- 65 「耐火性の容器」 容器ごとの貯蔵能力が明らかになるように記載 すること。
- 66 「施設内の常時立ち入る場所に対する遮蔽」 注10の例により記載 すること。
- 67 「工場又は事業所の境界及び工場又は事業所内の居住区域に対する 遮蔽」 注10の例により記載すること。
- 68 「保管廃棄容器」 注21の例により記載すること。
- 69 「構造及び材料」 注42の例により記載すること。
- 70 「使用の方法」 注53の例により記載すること。
- 71 「使用の場所」 注8の例により記載すること。
- 72 「主要構造部等」 注9の例により記載すること。
- 73 「施設内の常時立ち入る場所に対する遮蔽」 注10の例により記載 すること。
- 74 「工場又は事業所の境界及び工場又は事業所内の居住区域に対する 遮蔽」 注10の例により記載すること。
- 75 「放射化物保管容器」 注21の例により記載すること。
- 76 「構造及び材料」 構造の耐火性についても記載すること。
- 77 「第22条の3の規定を適用する区域」 第22条の3の特例を適用する区域の有無等を記載すること。
- 78 「施設内の常時立ち入る場所に対する遮蔽」 注10の例により記載 すること。
- 79 「工場又は事業所の境界及び工場又は事業所内の居住区域に対する 遮蔽」 注10の例により記載すること。

- 80 「排風機」 注21の例により記載すること。
- 81 「性能」 注26の例により記載すること。
- 82 「排気浄化装置」 注21の例により記載すること。
- 83 「構造」 注28の例により記載すること。
- 84 「汚染空気の広がりの防止装置」 注29の例により記載すること。
- 85 「放射線発生装置を使用する室に対する換気能力」 注30の例により記載すること。
- 86 「排水浄化槽」 注21の例により記載すること。
- 87 「構造及び材料」 注32の例により記載すること。
- 88 「排液処理装置」 注21の例により記載すること。
- 89 「保管廃棄容器」 注21の例により記載すること。
- 90 「構造及び材料」 注42の例により記載すること。
- 備考1 この用紙は、日本産業規格A4のつづり込式とすること。
  - 2 この申請書の提出部数は、正本1通及び副本3通とすること。ただし、原子力規制委員会の定める工場又は事業所にあつては、正本1通及び副本4通とすること。
  - 3 この申請書の正本1通には、第2条第2項に規定する書類を、それらの書類の一覧表と共に添えること。